

3 データの特徴

テーマ「2023年の福崎町は本当に暑かったのか？」

[福崎町で 38.9 度 20 日の国内最高気温に同町の観測史上最高を更新県内 21 日以降も真夏日が続く見込み | 社会 | 神戸新聞 NEXT \(kobe-np.co.jp\)](https://www.kobe-np.co.jp/news/society/202308/0016721209.shtml)

<https://www.kobe-np.co.jp/news/society/202308/0016721209.shtml>

2023年8月20日に、福崎町は日本で最高気温となる38.9℃を記録しました。この年の夏のニュースでは、エルニーニョ現象が伝えられました。しかし、2023年の福崎町は本当に暑かったのでしょうか？2022年と2023年の7月と8月の日最高気温（1日における最高気温）の傾向の違いを統計的に分析してみましょう。

学習活動

2022年と2023年のデータの特徴を統計量から読み取る。

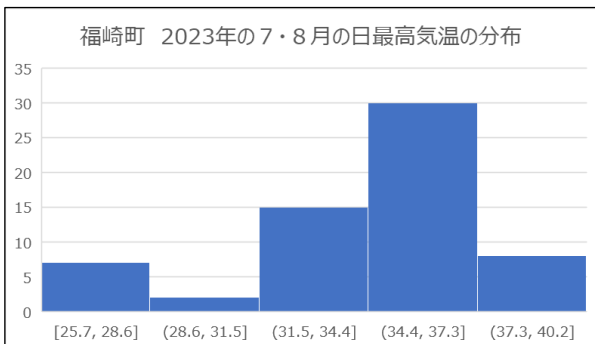
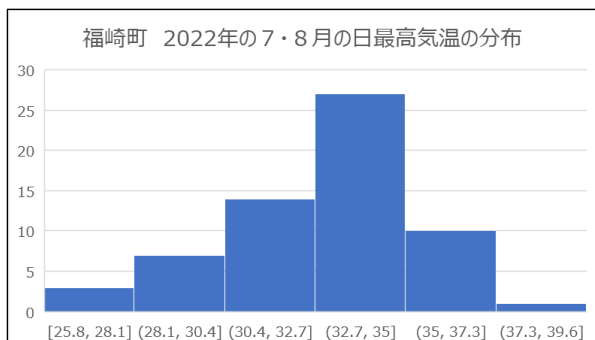
1. 関数から統計量を求め、データの特徴を読み取る。

特徴	統計量	2022年	2023年
分布の状況	最大値	38.2	38.9
	最小値	25.8	25.7
	平均値	33.1	34.2
	中央値	33.5	35.0
散らばり具合	分散	6.4	10.3
	標準偏差	2.5	3.2

統計量を求めるための数式例

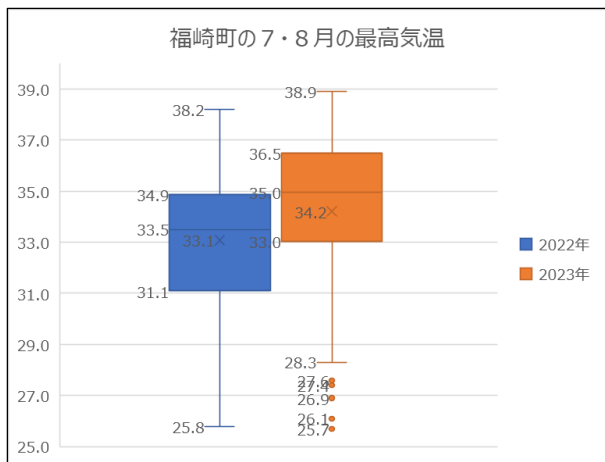
最大値
=MAX(範囲)
最小値
=MIN(範囲)
平均値
=AVERAGE(範囲)
分散
=VAR. P(範囲) (対象にした範囲が母集団のとき)
=VAR. S(範囲) (対象にした範囲が標本であるとき)
標準偏差
=STDEV. P(範囲) (対象にした範囲が母集団のとき)
=STDEV. S(範囲) (対象にした範囲が標本であるとき)

2. 2022年と2023年の7・8月の日最高気温の日数を度数分布で表す。



度数分布から、最も頻度が多い（高い）階級（気温）は2023年の方が高いことが分かる。

3. 箱ひげ図からデータの特徴を読み取る。



最高気温だけでなく、第1四分位数・中央値・第3四分位数・平均値のいずれも2023年の方が高くなっている。このことから、2022年と2023年の福崎町の気温を比較すると、全般的に気温が高い傾向にあったと考えられる。

学習評価例

項目	ねらい	重点	備考
1	<p>○データの特徴を表す指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴を表す指標とその評価について理解する。 ・データの可視化を行うことにより、データに含まれる傾向を見いだすことができる。 	知思	

重点…重点的に生徒の学習状況を見取る観点を示している。